

報告：第13号

9月9日（月）03 深沢健吾 議員 答弁資料目次（令和6年9月 定例会）

（分割方式）1-1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
1-1	今後の外国人政策について	市長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
2-1 2-2	昇仙峡エリアへの誘客事業について	市長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
3-1	「こども誰でも通園制度」の取組状況について	子ども未来部長	1
3-2	障がい児保育の実施状況について	子ども未来部長	2

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
4-1 4-2	リーディングDXスクール事業について	教育長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
5-1 5-2	小中学校における熱中症対策について	教育長	1

報告：第13号

令和6年9月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

リーディングDXスクール事業について

- (1) 質問者 深沢 健吾 議員（政友クラブ）
- (2) 質問日 9月9日
- (3) 答弁者 教育長
- (4) 担当課 学校教育課
- (5) 質問概要

本市において、石田小学校、南西中学校で実施されているリーディングDXスクール事業ですが、具体的にどのような研究・実践が行われ、どのような成果が得られているとお考えなのか。見解をお聞かせください。

また、石田小学校においては、リーディングDXスクール事業にプラスして、生成AIパイロット校にも本年度より指定され研究が進められていますが、その研究・実践状況についてお聞かせください。

(6) 答弁内容

・石田小学校においては、各学年で身に付けさせたい端末の活用に係るスキルの体系表に沿った授業を実施しており、個々の端末から共有のホワイトボード上に考えを書き込める機能を使い、友達と考えを交流したり、プレゼンテーションの機能を持つ学習アプリを活用し、自分の考えや意見を分かりやすく工夫して発表する実践などを行い、協働的な学びに繋がっているところであり、研究成果を、全国を対象とした公開研究会において発表する予定となっております。

・南西中学校においては、端末を使ってお互いの作品にコメントをする方法や授業の振り返りをする方法など、これまでの研究成果である60以上の事例のホームページへの掲載をとおして全国への展開を進めるとともに、拡大校内研究会を実施し、市内の学校に向け成果を発表しました。

・こうした取組により、両校において発達段階や学習内容に応じたICT機器のより一層効果的な活用を推進しているところであり、昨年度は一人一台端末を活用し、子どもたちの体調や心の状態を把握する中で不登校の未然防止への対応を先進的に行い、本年度からの市内全小中学校へのシステムの導入に繋がったところであります。

・生成AIパイロット校の指定も受けている石田小学校においては、国のガイドラインに則り、授業において生成AIの仕組みや使用上の留意事項等について児童の理解を深めるとともに、職員研修等をとおして校務における挨拶文や通知文の作成などの活用を重ねる中で、業務の効率化や質の向上に繋げる取組を進めているところであります。

・今後におきましても、これからの情報化社会を生き抜く子どもたちの育成や教育現場の校務改善に向け、積極的なICTの活用に努めてまいります。

報告：第13号

令和6年9月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

小中学校における熱中症対策について

- (1) 質問者 深沢 健吾 議員（政友クラブ）
- (2) 質問日 9月9日
- (3) 答弁者 教育長
- (4) 担当課 学校教育課
- (5) 質問概要

近年における災害級の暑さから子どもたちの命と健康を守るため、様々な熱中症対策を各学校単位で実施されていると思いますが、本市における現在の状況と取組についてお聞かせください。

本市においても、今年の夏の猛暑を考慮し、小中学生を対象に登下校時や学校生活における熱中症対策として暑さ対策グッズの支給などの取組を検討しても良いのはないかと考えますが、当局の見解をお聞かせください。

(6) 答弁内容

・本市教育委員会では、昨年8月に甲府市立学校における熱中症対策ガイドラインを策定する中で、各学校に対して、小まめな水分補給、運動強度の調節、適宜の休憩などや熱中症警戒アラート発表時における暑さ指数に基づいた授業や行事の適切な実施を求めるとともに、状況によっては、涼しくなってから下校させるなどの組織的な予防行動もとるよう指導しているところであります。

・各学校においては、猛暑の中にあっても快適に過ごせるよう帽子の着用や軽装での学校生活、登下校を呼び掛けるなど、実態に応じた熱中症対策を講じており、保健体育等の授業においては、熱中症やその予防方法について学ぶとともに、保健だよりなどにおいても、保護者に対し熱中症対策の取組についての情報提供を行い、必要な連携を図っているところであります。

・学校生活等における暑さ対策グッズ等につきましては、経口補水液や塩分補給のためのタブレット食品、冷却シート、保冷剤等を熱中症予防や緊急時において使用できるよう各学校に常備しており、気温が上昇しやすい校舎の高層階等へのスポットクーラーの配備や児童生徒用玄関へのミストシャワーの設置なども行っているところであります。

・晴雨兼用傘やファンクーラー等の暑さ対策グッズにつきましては、有効性や課題等について研究してまいります。

・今後におきましても、熱中症の未然防止と発生時の迅速な対応を図る中で、児童生徒が健康を保持し、安全・安心に学ぶことのできる環境づくりに努めてまいります。

報告：第 13 号

9 月 10 日（火） 05 藤原伸一郎 議員 答弁資料目次（令和 6 年 9 月 定例会）

（分割方式） 1－1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
1-1 1-2	リニア中央新幹線の南海トラフ地震等大規模地震発生時の安全性について	市長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
2-1 2-2	市立小中学校及び甲府商業高等学校体育館への空調設備の設置について	教育部長	1

報告：第13号

令和6年9月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

市立小中学校及び甲府商業高等学校体育館への空調設備の設置について

- (1) 質問者 藤原 伸一郎 議員（こうふ未来）
- (2) 質問日 9月10日
- (3) 答弁者 教育部長
- (4) 担当課 学事課
- (5) 質問概要

本市の公立小中学校、甲府商業高校体育館への空調設置について、今後、教育、防災面からの設置する考えはありますか。

また、クラウドファンディング型ふるさと納税による資金調達や、公立学校のネーミングライツを実施することができるか伺います。

(6) 答弁内容

・近年、地球温暖化の影響による猛暑のため、市立小中学校や甲府商業高等学校においても、夏季の熱中症対策が重要となっており、学校現場においては、予防策として、小まめな水分補給や適宜の休憩、運動強度の調節、気温が低い時間帯や運動に適した時期での体育授業の実施といった工夫を凝らすなど、様々な対策を講じるとともに、避難所においては、大型扇風機、スポットクーラーの活用や、必要に応じて空調設備が整備された教室を利用することとしております。

・こうした中、体育館への空調設備の設置につきましては、設置費用や維持・更新費用などの財政負担のほか全校設置に伴う工事期間の長期化などの課題があり、また、大風量のスポットエアコンについては、直線で大風量の冷風により、狙った空間の温度を素早く下げることができるものの、稼働音が大きいことや、強い風による球技等への影響などが考えられ、一方で、気候変動の影響により真夏日の期間の長期化などに伴い、児童生徒の熱中症対策や避難者の生活環境の良質化に向けたフェーズが変わりつつありますことから、今後におきましてもクラウドファンディング型ふるさと納税などの財源の活用も検討する中で、様々な角度からより有効な手法の研究を深めてまいります。

報告：第13号

9月10日（火）06 木内直子 議員 答弁資料目次（令和6年9月 定例会）

（分割方式）1－1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
1-1 1-2 1-3	すこやか子育て医療費助成事業について	子ども未来部長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
2-1 2-2	学校給食費の無償化について	教育部長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
3-1	熱中症予防の取組について	保健衛生部長	1
3-2 3-3 3-4	生活保護世帯等におけるエアコン購入費の支給について	福祉部長	2

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
4-1	甲府市緑の基本計画の見直しについて	市長	1

報告：第13号

令和6年9月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

小中学校の学校給食費無償化について

- (1) 質問者 木内 直子 議員（日本共産党）
- (2) 質問日 9月10日
- (3) 答弁者 教育部長
- (4) 担当課 学事課
- (5) 質問概要

山梨県は県の人口減少対策パッケージから、学校給食費無償化を行っている市町村への助成を削除し、「県による給食費無償化の実施については、子育ての負担軽減や人口減少対策の効果は限定的であると判断し、パッケージから削除した。」と答弁しています。この県の対応について、樋口市長の見解を伺います。

一方、県は「（仮称）物価高騰対策・子育て世帯応援臨時交付金」を創設し、長引く物価高騰の状況をふまえ、市町村と連携して子育て世帯を経済的に支援することとし、支援メニューとして給食費無償化などを想定しているとのこと。今回の「（仮称）物価高騰対策・子育て世帯応援臨時交付金」も活用するなどして、甲府市でも小中学校の給食費を無償化することを求めます。

(6) 答弁内容

・本市の学校給食費については、学校給食法により施設・設備に要する経費や人件費等の運営費は本市が負担しており、保護者の皆様には食材費のみをご負担いただいているところであり、就学援助制度により学校給食費や学用品費などの支援を行っており、令和4年度からは、物価高騰に伴う給食の食材費の高騰分を負担しております。

・今後におきましても、真に支援を必要とする世帯の負担軽減に努める中で、現行制度を維持しながら、国の学校給食費無償化に向けた取組の動向を注視するとともに、引き続き、山梨県市長会や山梨県市町村教育委員会連合会を通じて、国や県に対し、学校給食費の保護者負担について、自治体間で格差が生じることが無いよう、無償化の実施や支援について要望してまいります。

・なお、県の「（仮称）物価高騰対策・子育て世帯応援臨時交付金」につきましては、支援メニューや交付金額、交付期間等を確認し、子育て世帯全般の施策の中で活用してまいります。

報告：第13号

9月10日（火）07 末木咲子 議員 答弁資料目次（令和6年9月 定例会）

（分割方式）1－1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
1-1	女性の社会動態に係る取組の方向性について	市長	1
1-2	自然動態に係る取組の方向性について	企画部長	2

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
2-1	労働力の確保について	産業部長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
3-1	まちなかの魅力向上に向けた取組について	企画部長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
4-1	学校と保護者間の連絡ツールについて	教育長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
5-1	食品ロスの削減に向けた取組について	環境部長	1

報告：第１３号

令和６年９月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

学校と保護者間の連絡ツールについて

- (1) 質問者 末木 咲子 議員（（政和こうふ）
- (2) 質問日 ９月１０日
- (3) 答弁者 教育長
- (4) 担当課 学校教育課
- (5) 質問概要

教員の多忙化に向けて、本市でも様々な取組を行っていることは承知しておりますが、他市町村において導入が進んでいる、教員の業務の効率化及び保護者の利便性の向上につながる連絡ツールやアプリの導入について、小中学校における具体的な対応状況をお伺いします。

(6) 答弁内容

- ・学校と保護者間の連絡ツールとしてのＩＣＴ機器の活用につきましては、個人情報や機密情報の保護に細心の注意を払いながら、保護者の利便性の向上や教職員の働き方改革の一環として一層推進していくことが求められております。
- ・こうした中、本市においては、県内の市町村教育委員会で共同調達を行っている学校安心メールを全ての小中学校で活用し、保護者に向けて、学校からの緊急連絡や学校通信等の通知を送信しているところであります。
- ・児童生徒が欠席等する場合の保護者から学校への連絡につきましては、Ｗｅｂ上で入力する連絡フォーム等を活用しております。
- ・連絡ツールとしてのＩＣＴ機器の活用につきましては、保護者は時間や場所を選ばずに簡単に連絡ができ、教職員は文書の印刷や配付の作業、欠席者の集計などに関する時間を削減できることから、今後におきましても、学校の実態に応じた効果的な活用を進めてまいります。

報告：第13号

9月10日（火）08 小沢宏至 議員 答弁資料目次（令和6年9月 定例会）

（分割方式）1－1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
1-1	基金の運用等について	総務部長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
2-1 2-2	まちづくりにおける身延線が果たす役割等について	市長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
3-1	「スポーツ推進計画」に基づく取組と次期計画の進捗状況について	教育部長	1

報告：第13号

令和6年9月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

「スポーツ推進計画」に基づく取組と次期計画の進捗状況について

- (1) 質問者 小沢 宏至 議員（政和こうふ）
- (2) 質問日 9月10日
- (3) 答弁者 教育部長
- (4) 担当課 スポーツ課
- (5) 質問概要

本市のスポーツ推進計画の計画期間は、令和6年度末までとなっておりますが、計画に掲げている基本理念、基本目標のもと、これまでどのような取組を行ってきたのか、また、これまでの取組を踏まえ、令和7年度からスタートする次期計画の策定に向けて、どのような策定準備を進めているのか、進捗状況をお伺いします。

(6) 答弁内容

・本市では、スポーツ推進計画に掲げる「だれもが いつでも 身近に スポーツに親しむまち」の基本理念のもと、4つの基本目標の達成に向けて様々な取組を進めているところであり、基本目標1「子どもの運動機会の充実」においては、未就学児を対象にした運動能力向上教室や小学生向けのランクリニックを開催する中で、子どもたちの体力や運動能力の向上を図り、基本目標2「ライフステージに応じた、スポーツ活動の推進、環境整備」においては、幅広い年齢層を対象にしたズンバ教室や障がい者向けのイベントを開催する中で、生涯スポーツやパラスポーツの普及促進を図るとともに、緑が丘スポーツ公園運動施設の再整備や学校の屋外照明設備のLED化、屋外トイレの洋式化など社会体育施設の環境整備も行い、基本目標3「競技力の向上」においては、甲府市スポーツ協会と連携し、市民体育大会を開催するとともに、各種目団体における指導者講習会を行う中で、競技大会や指導体制の充実を図り、基本目標4「地域に活力をもたらす スポーツ環境づくり」においては、甲府市観光協会との共催によるトレイルランニングレースや地元のプロスポーツチームとの連携による甲府市サンクスデー、スポーツ教室等を開催する中で、スポーツツーリズムの推進や「みるスポーツ」「ささえるスポーツ」の機会の創出に取り組んでまいりました。

・次期計画の策定に向けた進捗状況につきましては、昨年度末に市民2,000名を対象にした「市民の運動・スポーツに関する意識調査」を実施し、現在は、調査結果の分析や、これまでの取組内容の検証を行うとともに、国や県の計画を参酌する中で、骨子案の作成を進めているところであります。

・今後におきましては、学識経験者で構成する甲府市スポーツ推進審議会の審議を経たうえで、年明けにはパブリックコメントを実施し、本年度内の策定を目途に作業を進めてまいります。

報告：第13号

9月11日（水）13 清水英知 議員 答弁資料目次（令和6年9月 定例会）

（分割方式）1－1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
1-1 1-2	介護報酬改定の影響と経営等実態調査について	福祉部長	1
1-3	末期がん等における介護サービスの利用について	福祉部長	2

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
2-1	加齢性難聴の予防と補聴器購入の助成について	福祉部長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
3-1	国民健康保険料における子どもの均等割について	福祉部長	1
3-2	一部負担金の減免について	福祉部長	2

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
4-1	会計年度任用職員の夏季休業中における雇用について	教育部長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
5-1	リニア中央新幹線事業の見通しについて	市長	1

報告：第13号

令和6年9月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

会計年度任用職員の夏季休業中における雇用について

- (1) 質問者 清水 英知 議員（日本共産党）
- (2) 質問日 9月11日
- (3) 答弁者 教育部長
- (4) 担当課 学校教育課
- (5) 質問概要

会計年度任用職員として学習支援や教員業務支援にあたる人の雇用や共済組合員資格を夏休み期間中も継続させることを求めますが、当局の見解はいかがですか。夏休み期間中に雇用や共済組合員資格が途切れさせている理由や背景などの説明も併せて求めます。

(6) 答弁内容

- ・学校現場においては、様々な教育課題や教員の多忙化等に対し、効果的な対応を推進していく必要があり、そのための人的配置が求められているところです。
- ・本市においては、特別支援教育支援員や学習指導員、スクール・サポート・スタッフを会計年度任用職員として雇用し、きめ細かな教育を充実させ、児童生徒の健全育成と学力の向上を図るとともに、教職員の業務における負担軽減に努めているところであります。
- ・これらの職種につきましては、児童生徒の直接的な支援や教職員の業務の円滑な実施に資するものであり、児童生徒の登校している期間が業務の対象となるため、夏季休業中は雇用を継続しないこととしており、これにより山梨県市町村職員共済組合の組合員の資格は喪失することになります。
- ・なお、雇用の際においても、当該職員に対し同様の説明を行い、了承を得ているところであります。

報告：第 14 号

9 月 20 日 (金) 05 内藤司朗 議員 答弁資料目次 (令和 6 年 9 月 決算審査特別委員会)

1-1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
1-1 1-3	市民生活と市内事業所経営の現状認識と施策について	市長	1
1-2 1-4	物価高対策について	企画部長	2

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
2-1	財政調整基金について	企画部長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
3-1 3-2	人口減少対策について	企画部長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
4-1	令和 5 年度における学校給食費に関する取組について	教育部長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
5-1	防災対策について	危機管理監	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
6-1 6-2	職員給与における男女間の差異の解消等について	総務部長	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
7-1	甲府市リニア活用基本構想について	リニア交通政策監	1

報告：第 1 4 号

令和 5 年度決算審査特別委員会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

令和 5 年度における学校給食費に関する取組について

- (1) 質問者 内藤 司朗 議員（日本共産党）
- (2) 質問日 9 月 2 0 日
- (3) 答弁者 教育部長
- (4) 担当課 学事課
- (5) 質問概要

自治体間の奪い合いを是とするものでもないし、甲斐市も 3 か月限定とはいえ学校給食無償化に踏み出した。この点でもいよいよ甲府市も学校給食無償化すべきではないかと考えられるが、令和 5 年度はどのような取組をしたのか。

(6) 答弁内容

・本市の学校給食費については、学校給食法により、施設・設備に要する経費や人件費等の運営費は本市が負担しており、保護者の皆様には食材費のみをご負担いただいているところであります。

・昨年度においては、就学援助制度により、学校給食費の保護者負担分約 6, 0 0 0 万円を援助するとともに、物価高騰に伴う給食の食材費の高騰分約 6, 6 0 0 万円を本市が負担したところであります。

・山梨県市長会や山梨県市町村教育委員会連合会を通じて、国や県に対し、学校給食費の保護者負担について、自治体間で格差が生じることが無いよう無償化の実施や支援について要望を行ってまいりました。

・今後におきましても、真に支援を必要とする世帯の負担軽減に努める中で、現行制度を維持しながら、学校給食費の無償化に係る国・県の動向を注視してまいります。

報告：第 1 4 号

令和6年10月2日

甲府市議会議長 長 沼 達 彦 様

決算審査特別委員長 小 澤 浩

報 告 書

去る9月11日の本会議において、当委員会に付託されました、議案第75号 令和5年度甲府市各会計別決算の認定について、議案第76号 令和5年度甲府市地方卸売市場事業会計決算の認定について、議案第77号 令和5年度甲府市病院事業会計決算の認定について、議案第78号 令和5年度甲府市下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について、議案第79号 令和5年度甲府市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について及び議案第80号 令和5年度甲府市簡易水道等事業会計決算の認定についての6案について、9月20日から9月30日までの11日間にわたり慎重に審査を行いました。

以下、その経過と結果について御報告いたします。

(中略)

次に、議案第75号 令和5年度甲府市各会計別決算の認定について、細部にわたり行いました審査の経過を順次御報告いたします。

(中略)

次に、一般会計歳出について款を追って申し上げます。

(中略)

教育費については、小中学校の英語教育についてただしたのに対し、英語教育改善プラン推進事業の指定を受けた相川小学校及び北東中学校において、児童・生徒一人一人が情

報告：第14号

報や自分の考えを積極的に英語で発信し、相手とコミュニケーションを図れるようICTを活用しながら授業づくりに取り組んだところであり、その成果等を基にして、他の小中学校においても展開をしているとの答弁がありました。

また、スクールロイヤーについてただしたのに対し、生徒指導上の課題等に弁護士3名で対応しており、25回の相談があったとの答弁がありました。

これに対し、専門的なアドバイスを受けることで教職員の負担軽減が図られることから、引き続き相談しやすい体制づくりを求める意見がありました。

(中略)

以上が、議案第75号、議案第76号、議案第77号、議案第78号、議案第79号及び議案第80号の審査における質疑の概要であります。

(中略)

次に、採決の結果、議案第75号 令和5年度甲府市各会計別決算の認定についてのうち、一般会計決算並びに国民健康保険事業及び住宅新築資金等貸付事業の各特別会計決算については、多数をもって、交通災害共済事業、介護保険事業、農業集落排水事業、後期高齢者医療事業、浄化槽事業及び母子父子寡婦福祉資金貸付事業の各特別会計決算については、全員異議なく当局提案のとおり認定するものと決し、議案第75号は、当局提案のとおり認定するものと決しました。

(中略)

最後に、市長から、令和5年度は、市民の暮らしや事業活動を取り巻く情勢は依然として不透明感が否めない状況にあるものの、賃金上昇等により、実質賃金のプラス転換が続いているなど一部で明るい兆しも見え始めており、こうした状況を前向きに捉えつつも、楽観は避け、社会経済情勢の変化に細心の注意を払いながら、最優先で取り組む物価高対策をはじめ、第六次甲府市総合計画やKOFU NEXT ACTIONに位置付く各施策・事業を着実に推進する中で、市民福祉の増進に向け、全力を傾注していくとのあいさ

報告：第 1 4 号

つがありました。

以上が委員会審査の経過と結果であります。それぞれの審査日の質疑終了後に議会基本条例第 1 6 条及び第 1 8 条第 3 項の規定に基づき、活発な委員間討議を行う中、来年度予算への反映を求めるべきもの等を委員会の意見として、次のとおり集約しました。

議案第 7 5 号に対しましては、

(中略)

- 1 地元の農畜産業の発展や食育の観点から、学校給食における地産地消の更なる推進に取り組むこと。
- 1 様々な課題を抱える子どもへの的確な対応を行うため、スクール・ソーシャル・ワーカーの増員等に努めること。

(中略)

以上を求めるものであります。

当局におかれましては、人口減少をはじめ、中長期的な課題を的確に捉える中で、市民生活に直結する第六次甲府市総合計画の着実な推進を行い、市民の安心な暮らしを守り、地域経済に活力をもたらす取組を適時・的確に展開し、将来にわたって安定的に良好な行政サービスを提供できる持続可能なまちづくりに職員一丸となって努められるよう期待して報告を終わります。